

# ユーザーレポート

# — 0の証明 —

# User Report

株式会社倉成観光バス

## 貸切バス事業者の不規則な点呼負担を改善 未来を見据えた投資「自動点呼」

平成13年12月に北九州市八幡西区木屋瀬に設立以来、地域に密着したバス会社として、『安全』と『信頼』をモットーに、快適なバスの旅、お客様の心にのこるバスの旅を目指して取り組んでいます。  
社会がめまぐるしく変化する今日、生活スタイルも変わりつつある中でも、地域のみなさまに親しまれるバス会社として、お客様満足を第一に安全運行に努めている企業です。

### ご利用機器



### 導入のきっかけ 業務効率化への先進的な一歩

当社が自動点呼機器を知ったのは、研修会での展示がきっかけでした。業務負担の軽減と管理のしやすさに魅力を感じ、迷うことなく導入に向けた検討を進めました。国の認定制度が整備される前ではありましたが、この革新的な技術に大きな可能性を見出したためです。

当社では、点呼業務の効率化が急務だったため、制度の確立を待つのではなく、早期に取り入れるべきだと判断しました。費用面についても必要な投資と考えており、業務改善につながることを重視しました。さらに、既に使用していた東海電子のアルコール検知器「ALC-PROII」との連携が可能である点もポイントでした。既存システムに追加する形で導入できるため、予算・運用面ともに大きな負担にはならないことが決め手のひとつとなりました。

結果として、「e点呼セルフ」の導入はスムーズに進みました。新技術を積極的に取り入れることで、業務効率の向上と従業員の負担軽減を同時に実現できる未来を見据えた投資だと確信しています。今では、この決断が正しかったと日々実感しています。

### 製品導入による 効果・感想

### 点呼業務の革新と負担軽減

導入前は、貸切バスの不規則な運行時間に合わせて運行管理者が早朝や深夜に待機する必要がありましたが、e点呼セルフの導入後は、こうした負担の大きい出勤や待機時間が大幅に削減できています。

さらに、点呼管理簿の作成や保存も自動化され、管理が容易になったことで、人的リソースを効率的に活用できるようになり、業務の簡素化にもつながりました。現在では、点呼業務に欠かせないシステムとして活用しています。



### 操作性について (管理者)

### 利便性と改善への期待

運輸安全PROの設定や管理操作については、基本的には分かりやすく、日常的な運用において問題はありません。一方で、設定変更時などにはマニュアルを参照する場面もあり、運用面において改善が望まれる部分もあります。また、夜間の業務後自動点呼において、反映されないケースが発生したことがありました。こうした場合には、パソコンの再起動やサポートセンターへの問い合わせにより対応しています。全体として操作は簡単ですが、エラー発生時の対応については、今後さらなる改善が進むことで、より安心して運用できる環境になることを期待しています。

### 操作性について (ドライバー)

### 簡便性と個人差への配慮

ドライバーからは、e点呼セルフの操作は誘導式で分かりやすいと評価され、「特に難しさは感じない」との声が大多数

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

# ユーザーレポート

# User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

株式会社倉成観光バス

です。しかしパソコン操作に不慣れなドライバーの場合、エラー発生時の対応に戸惑う場面も見られます。そのような際には、管理者がフォローしながら対応しています。操作の分かりやすさは評価される一方で、個人のパソコンスキルによって対応に差が出ることもあるため、使い始めは管理者が伴走しながら運用しています。

安全への  
取り組み

## 先進技術と実践的教育で 安全を追求

当社の安全への取り組みは、法令遵守に基づく乗務員教育にとどまらず、実車を使用した実技訓練や危険予知教材を活用した教育を実施し、実践的なスキル向上を図っています。

また、十数年前からドライブレコーダーとデジタルタコグラフを導入し、GPSによるリアルタイムの運行管理体制を整えてきました。これらの先進的な取り組みは、2025年4月の義務化以前から自主的に進めてきたものであり、安全性向上に大きく寄与しています。

独自の活動

## 運転手の健康を守る独自規定

当社では、運転手の健康管理に特化した4つの独自規定を設け、積極的に実践しています。脳血管疾患、睡眠時無呼吸症候群、視力・目の状態、心疾患・大血管疾患に関する基準を定め、通常の健康診断に加えて、脳ドックや睡眠時無呼吸症候群の検査など、運転業務に特化した健康チェックを実施しています。

これらの取り組みは、過去の事故事例や国土交通省のガイドラインをもとに策定しており、運転手の健康維持と安全運行の確保に貢献しています。

今後の展望

## 変化に適応し、 質の高いサービスで発展を

当社は、現状の強みを活かし、さらなる発展を目指しています。少子高齢化による需要の変化に対応し、幅広い業務受託で会社の維持・発展を図ります。また、新車導入や運転手教育の充実を通じて、安全性と快適性の向上に取り組んでいます。中でも力を入れているのが、お客様に安心して楽しんでもいただける乗車体験の提供です。丁寧な接客と高品質なサービスにより、変化する社会環境の中でも選ばれ続ける企業を目指しています。



東海電子  
への要望

## 業務効率化に向けた さらなる支援への期待

東海電子様には、アルコールチェックや自動点呼機器などのハード面において、大変お世話になっております。今後は、貸切バス会社における事務業務の負担軽減につながるソフトウェア開発にも期待しています。特に、見積作成や工程作成といった煩雑になりがちな業務について、AIを活用した効率化ツールが提供されると非常に助かります。他社の取り組み例も参考にしながら、バス会社と旅行会社双方の業務負担を軽減できるようなソフトウェアの開発について、ご検討いただければ幸いです。

検討中の  
企業様へ

## 業務効率化への一歩となる 自動点呼導入のススメ

貸切バス事業者の皆様、特に人手不足に悩む企業様には、自動点呼機器の導入をおすすめします。早朝や深夜の運行管理者の負担を大幅に削減し、業務効率化につながることができます。また、クラウド管理により、複数の端末から操作可能なため、急な予定変更にも柔軟に対応できます。導入コストについても、いま抱えている負担の軽減効果を踏まえると、十分に検討の価値があると考えられます。まずは東海電子のセミナーや体験会などに参加し、実際の運用イメージを確認することから始めてみてはいかがでしょうか。業務改善の一歩として、ぜひ導入をご検討ください。

取材ご協力

株式会社倉成観光バス

本社 取締役 千々和 俊介 様

住所： 〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬2-1-8  
URL: <https://www.kuranari-kanko.co.jp/index.html>

